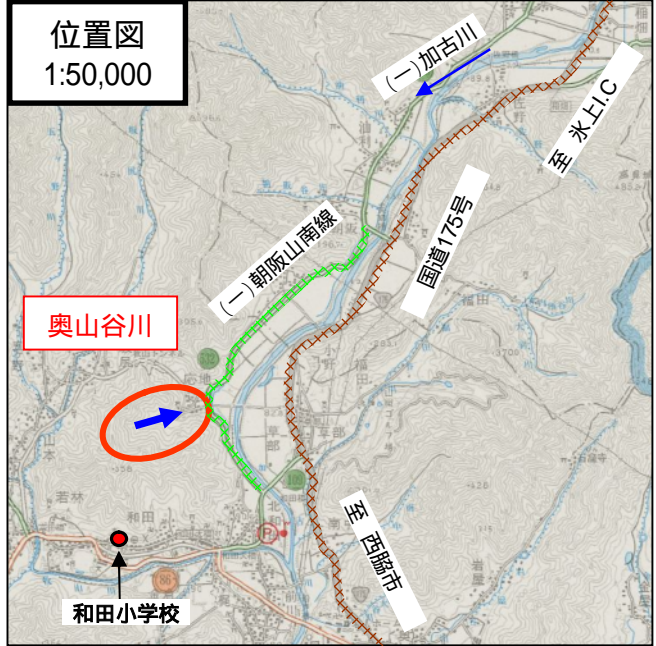


3 1

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 市川和幸 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 おくやまたにがわ 奥山谷川	丹波市 さんなんちょうおうち 山南町応地	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
丹波市山南町応地				H25	H27
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から人家・県道等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 13.0m, L = 80.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	(一)加古川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、風倒木も多数発生しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積しており、多量の土砂が流出する可能性があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約5ha(長さ400m、最大幅300m程度)に及ぶ。 ・人家44戸、 ^{あさか} 応地公民館(避難所)、県道朝阪山南線				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・警戒避難体制の整備に加え、ハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・地元は事業に協力的であり、工事用道路についても理解を得られていることから、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・保全人家が多く、県道、公民館(避難所)等の保全を図る必要があることから、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H25年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

おくやまたにがわ
奥山谷川
[丹波市]



計画概略図
縮尺 1:5,000

